

# Elevate Shimbashi

—移動が価値になる街へ—

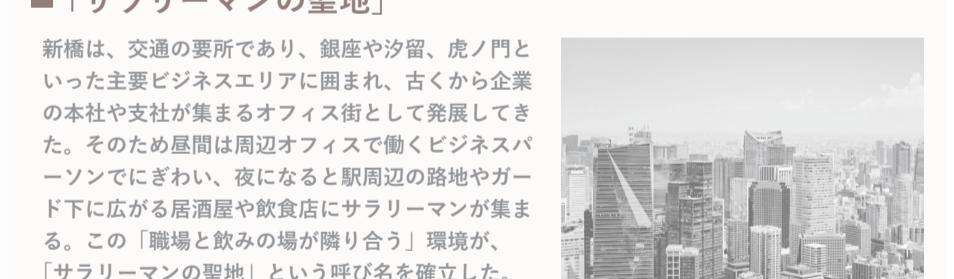


## 01 交通とビジネスが交差する街・新橋

### ■ 都市の結節点



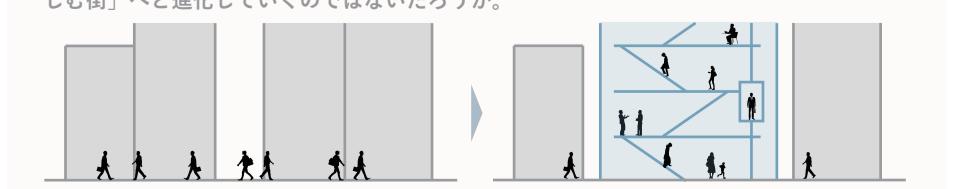
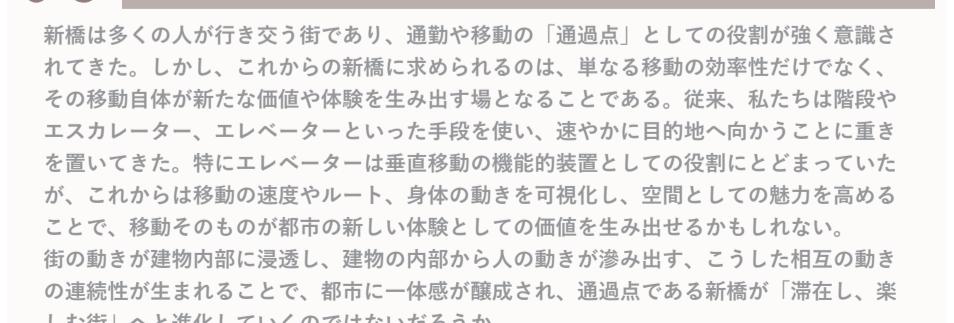
### ■ 「サラリーマンの聖地」



## 02 静と動の両面

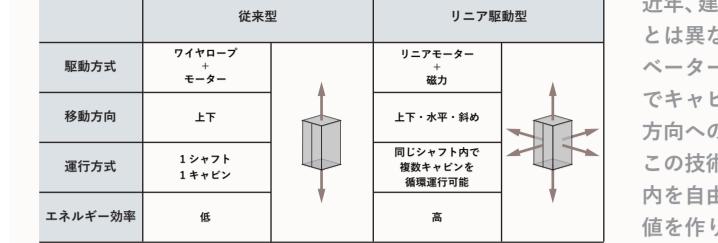


## 03 移動の再定義

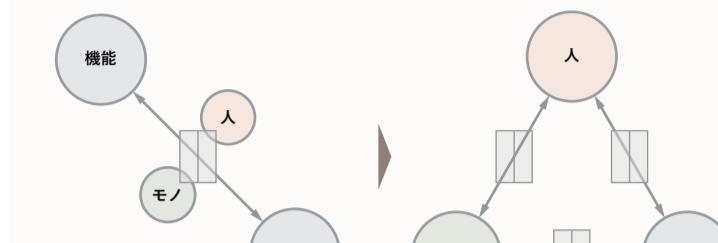


## 04 エレベーターの新しい形

### ■ ワイヤロープのいらないエレベーター



### ■ 新たなエレベーターのあり方



これまでエレベーターは、人・モノの機能間の移動を担う装置に過ぎなかった。しかし、リニア駆動式の新しいエレベーターは、その役割を大きく拡張できる。人・モノの移動を加えて、新たな価値を持たせることができる。オンラインオーダーした商品を各階や各部屋でエレベーターから受け取れるサービスや、カフェやコンビニなどの機能を搭載し移動させることで、建物内の任意の場所に一時的なサービス拠点を展開することもできる。エレベーターは、単なる垂直交通機関から、人・モノ・機能を結びつける動的インフラへと進化することがができる。

### ■ 車体 × エレベーター

本計画では、ビルの躯体を構成する柱(梁)にニアエレベーター用のレールを直接組み込み、構造体と移動システムを一体化する。これにより移動装置が建物内に自然に溶け込み、設備スペースを最小限に抑えながら、建物全体を無縫隙で移動可能な立体的モビリティネットワークを形成することができる。従来のように垂直にキャビンに依存せず、上下・水平・斜めへと自由に方向転換できるため、利用者は階や棟の境界を意識することなく、目的地を目指すことができる。

あとで最短距離のルートを設定しないことで、エレベーター内部での時間と移動のみではなく、場面の変化や他人の存在を感じられる新たな体験としての価値を生み出せる。

### 分解図

レール  
キャビン  
駆動ユニット  
柱

柱

駆動ユニット

レール

柱

駆動ユニット

レール